

令和3年3月
鳥栖市教育委員会
定例会議事録

鳥栖市教育委員会

鳥栖市教育委員会 議事要旨

1 会 議 名

教育委員会 3 月定例会

2 開 催 日 時

令和 3 年 3 月 10 日（水）8 時 30 分開会 9 時 23 分閉会

3 開 催 場 所

鳥栖市役所 3 階第 1 委員会室

4 会 議 の 公 開

公開

5 出 席 委 員

天野教育長、古澤委員、吉原委員、戸田委員、副田委員

6 出席事務局職員

白水教育部長、青木次長兼教育総務課長、中島学校教育課長、犬丸学校給食課長兼学校給食センター所長、松隈生涯学習課長兼図書館長、古賀学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事、日吉学校教育課参事兼指導主事、竹下生涯学習課参事、立石教育総務課長補佐兼総務係長、八尋生涯学習課長補佐兼生涯学習推進係長、長野学校教育課インクルーシブ教育推進係長、石丸学校給食課学校給食センター係長、久山生涯学習課文化財係長、原口生涯学習課主査

7 傍 聴

0 人

8 経 過 報 告

2 月定例会以降の経過報告

9 議 事 録 承 認

2 月定例会の議事録承認

【承認】

3 月臨時会の議事録承認

【承認】

10 議事及び審議結果

議案第 11 号 教育プランの改正について

【承認】

11 協議報告事項

(1) 鳥栖市立小中学校学校現場の業務改善計画について

12 今後の予定等

教育委員会関連の主な行事について報告

13 次回会議予定

教育委員会 4 月定例会

令和 3 年 4 月 14 日（水）9 時 00 分から

○青木次長兼教育総務課長

おはようございます。本日、図書係の中溝係長が病気のため会議を欠席しておりますので、御報告をさせていただきます。

○白水教育部長

追加でございますけれども、教育総務課の辻係長も、議会对応のために欠席をさせていただきますいております。よろしく申し上げます。

○天野教育長

はい、それでは皆さん改めましておはようございます。今日は3月の定例議会のためということで、早朝より御出席いただきまして誠にありがとうございます。明日が東日本大震災から節目の10年ということになりましたけれども、先月13日は震度6強の地震が起きたということで、10年目にしての余震というふうに言われております。余震がいつまで続くのかということで、本当にこのコロナ禍の中で改めて自然の猛威とか地震の怖さっていうのを考えてしまいます。やっぱりこれから次の10年ということはあると思いますが、創造的な復興とよく言われてますけど、しっかりこれを祈念して願うのみだなと思っています。

さて、委員の皆様には先週の土曜日の中学校の卒業証書授与式、祝辞について本当にありがとうございました。戸田委員さんは3月1日の鳥栖工業の方でも祝辞を述べていただいて、本当にこれまたありがたく思っています。私は鳥栖中学校に行きまして、こういった厳しい状況ではあったんですけど、凜として本当に素晴らしい卒業式だったと思っています。話を聞きますと、4つの中学校とも非常に引き締まった素晴らしい旅立ちの卒業証書授与式だったというふうに聞いておりまして、来週19日は小学校がありますのでまたよろしくお願い申し上げます。

それでは、ただいまより教育委員会の3月定例会を始めます。はじめに経過報告をお願いします。はい、青木次長。

○青木次長兼教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございました。それでは経過報告について、何か御質問・御意見等ありましたらお願いいたします。いいでしょうか。それでは、次に行きます。

2 議事録承認につきましては今回は2月の定例会、そして3月の臨時会という2回の委員会を実施いたしました。別冊でまとめていただいておりますので、また何かありましたらよろしくお願ひしたいと思ひます。それでは次に行きます。

3 議案。議案第11号教育プランの改正についてお願ひします。はい、青木次長。

○青木次長兼教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございました。今日は議案はこの議案第11号のみということでありまして、これからしっかり揉んでいただきたいというふうに思っています。今回は第7次総合計画の策定に絡みましたし、また、昨年11月の組織改編ということもありまして、かなり各課エネルギーを注いでいただひて見直し、そして私も各課長と2回くらいヒアリングを行ってこの案が出来ておりますので、しっかり見ていただひて御意見等をいただきたいというふうに思っていますので、よろしくお願ひします。はい、副田委員。

○副田教育委員

はい。10ページの上の方です。スクール・サポート・スタッフについて書いてあ

りますけれども、これは現在、既にスクール・サポート・スタッフが配置されているところがあるのか、あるいは、これからどのようになっていくのか、その目途が立っているのか。そしてもう一つ、学習指導員の配置は現在どのようになっているのか、そのことについてもう少し詳しくお聞かせいただければと思います。

○天野教育長

はい、中島課長。

○中島学校教育課長

おはようございます。まず御質問にありましたスクール・サポート・スタッフにつきましてですが、これにつきましては、新型コロナウイルス感染拡大防止ということで、本年度は年度途中の8月から各学校に1名ずつ、既に配置をしております。具体的には、感染防止対策に向けて休み時間や放課後に消毒作業が入ってまいりますので、教職員が負担していた部分なんですけど、スクール・サポート・スタッフを配置することで先生方の負担軽減につながるということで、現在配置をしているところです。来年度につきましても、小学校8校、中学校4校に配置する予定としているところでございます。学習指導員というのは特段配置をしております。

○天野教育長

副田委員いいですかね。

○副田教育委員

はい、ありがとうございました。

○天野教育長

このスクール・サポート・スタッフについては、1日4時間だったというふうに思っています。それで、各学校の校長さん方と話す中では、非常によかったということです。職員が消毒作業を毎時間おきにやっていただくということで、大きな学校にも小さな学校にも1名です。そこは非常に難しい部分があるんですけど、しかしそれでも本当にありがたいということで聞いてますし、来年に向けてもこういう対応をしていくということで、お願いしたいというふうに思っています。はい、他に。古澤委員。

○古澤教育委員

はい、おはようございます。今回はコロナをはじめ、インクルーシブ教育にしても適切に見直しをしていただいたなというふうに感じております。事前に送っていただいた資料からいくらかまたアレンジがされているように感じておりますが、その中でいくつかお尋ねをさせていただきます。何を今さらって言われるような気がいたしておりますけれども、2ページ目の下の方に図がございますが、教育委員会が中心になって右下の方に市長さんの名前があがっております。この鳥栖市教育プランの上位に位置付けられている教育大綱については、できたら資料を準備いただきたいということでお願いをさせていただいて、届いておりました。2014年に教育委員会制度の見直しがあって、市長開催のもと総合教育会議を開くことが義務づけられました。私どもも年2回開催させていただいて、その中でこのプランに関わるようなGIGAスクール構想ですとか、いろんな部分を協議をしてみました。そういう経緯がございます。そういうことからしたら、この図の中にただ「市長」だけ書いていいのかなという気がしたものですから、できたら「市長」の下に「総合教育会議」くらい書いてなくていいのかなと思っております。当たり前のことだから必要ないという判断であればそれはそれで結構ですが、見解をお尋ねしたいのが1点。

それと、事前の資料からちょっと変わってますけど、6ページの「生きる力」、これは非常に大事なことだろうと思っております。これをしたから生きる力がつきまし

たということはないわけで、この次に①②③と記載されてます。いろんな事業を通して子どもたちの生きる力を育む、身につけさせていくというのが狙いだらうということは分かった上でお尋ねします。非常に大事なことですが、①②③ともに比較的抽象的な感じを受けますので、出来たらコンクリート、具体的に先生方がどういったことを、どういうふうにしていったらつながるのか、イメージしてあるのがあれば教えていただきたいというのが2点目です。

それと、インクルーシブ教育については最終的には予算が絡むことですので、環境整備をするにしてもしっかりと財政との綱引きは負けないように頑張っていたきたい、教育委員会も総合教育会議もついているということをお伝えしたいなと思っています。

それと、最後あたりでこれは今話すべきことではないかもしれませんが、図書館の②で「図書館機能の充実」というふうに謳ってありますからあえて言わせていただきます。確か先月の定例会の中で工事費関係をお尋ねしたときに、現在視聴覚室が窓がないために、コロナ関係で使えないということで使用を控えているみたいな説明があったように思っています。もったいない話でありまして、換気をする機械を導入するとか、構造上無理があるのであれば仕方がないんですけど、窓がないから諦めるんじゃないなくて、窓の設置が可能であれば検討していただくとか、過去に久留米市に勤務していたときに、市民会館の事務室の奥の方にここから出入りできたらいいよねっていう話が出たときに、開ければっていうことで開けるようになりました。今はもう更地になってしまってますけど、そういうことで、駄目だって最初から諦めるんじゃないなくて、もし可能であればそういったこと、機械を設置すると物によってはかなりかかるでしょうから、そこら辺の御検討をいただければというふうに思います。以上3点、お尋ねをさせていただきました。

○天野教育長

はい、中島課長。

○中島学校教育課長

2点目、3点目につきまして御説明をさせていただきたいと思います。まず2点目の「生きる力」という部分につきましてですけど、「生きる力」につきましてはこれまでも言われてきておりますけど、知・徳・体のバランスのとれた力と考えております。特に今回の学習指導要領の改訂におきましては、これからの社会を見据えてまさに予測不能な変化に対して柔軟に対応できる「生き抜く力」、そういったものを育むために主体的、対話的で深い学びの実現というのがまず大きなテーマとなっているところでございます。その中で、「生き抜く力」というものを育むための理念の具体的な部分として、ここでも示しておりますが、「知識・技能」、「思考力、判断力、表現力等」、それから「学びに向かう力・人間性等」というのが3点示されています。例えば1点目については「生きて働く知識・技能の習得」、それから2点目については「未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力の育成」、それから3点目については「自分がこれまで培った学びというものをこれからの自分の人生とか社会に活かそうとする、そういう学びに向かう力、人間性の育成」、この3本柱を偏りなく実現していくことが大事ではないかと考えているところです。例えば、学校現場で本当に基本的なことで考えると、何か一つの問題を解くに当たって、解けないで終わってしまうんじゃないなくて、じゃあどうやったらこの問題が解けるのかというのを考えていく。そういった姿勢を一つずつ積み上げていくことが「生きる力」につながっていくんじゃないかなと考えているところでございます。

それから3点目のインクルーシブ教育につきましては、11月に組織改編がありましてインクルーシブ教育推進係を設置したところでありまして。これにつきましては、例えば市役所内においても、こども育成課とか高齢障害福祉課とかと連携を推進していくこととしております。そういう中で、今委員さんからお話がありましたように、当然システムのなところも取り入れてそれぞれの課が情報を共有しながら進めていくということで、システムの導入につきましても各課と連携を図りながら、財政との折衝を含めて頑張っているところでございます。今議会においても、それをあげさせていただいているところでございます。以上です。

○天野教育長

はい、松隈課長。

○松隈生涯学習課長兼図書館長

先月の定例教育委員会の中で、視聴覚室の方は換気がとれないということで、今のところ貸し止めしているというのが実情でございます。先ほど言われました外窓の設置等につきましては、現実的にそれをするとなると耐震診断とかを図らなくてはならないので、かなり厳しい部分があるのかなというところなんです。それなら代わりのものとして先ほど言われましたように空気清浄機、かなりの面積がありますのでそれに対応するような備品の購入等を今後検討してまいり、視聴覚室の開放につなげていきたいというふうに考えておりますので、よろしく願いいたします。

○天野教育長

はい、青木次長。

○青木次長兼教育総務課長

はい。1点目の2ページの図表の表現ですけれども、今後どういった形でしたらいいか検討させていただきたいと思っております。

○天野教育長

古澤委員さんいいですかね。はい、どうぞ。

○古澤教育委員

はい、ありがとうございます。中島課長の答弁は素晴らしい内容のものだったというふうに思っております。加えると、子供たちの自主的な学びにつながるようになるためには、自分で考えてなぜなんだろうという、自分で解いて分かったときの喜びなんかを持続的に持っていただくような、子供の好奇心をくすぐるようなことも一つの大事な要素なのかなというふうに感じております。期待をしておりますので、しっかりとやっていただきたいと思いますと思っております。図書館のことについては、質問したかいはありました。図表の中の市長のところの「総合教育会議」の表記については、他所の状況等も私なりに調べてみたけどなかなか分かりづらいところがありまして、しかしながら7年程前に制度改正されたときに総合教育会議というのが義務化されているわけだから、どこかで言わなくていいのかなという気がいたしております。以上です。

○天野教育長

はい、ありがとうございます。結局これは鳥栖市教育プランの主たるプレーヤーということですので、関係機関、市議会、市長、教育委員会、地域コミュニティって書いてあるので、総合教育会議はこの連携の部分のところとかにくると思うんですね。これを見ると16ページの教育委員会としての取組といいますか、方向性はこの4つ目のところに総合教育会議をおいてってということで、一応ここには明記をしています。しかし、やっぱり図式という形で見た方が非常に見やすい部分もありますので、今次長が話したようにちょっとそこは検討させていただくような形をと

りたいというふうに思っています。ありがとうございます。せっかく今日は教育大綱はいかなるものかということで改めてこうして資料も持ってきていただいていますので、この大綱のことについてでも結構ですので何かありましたらお願いしたいというふうに思います。はい、副田委員。

○副田教育委員

これは質問ではなく私からの要望なんですけど、先ほど子供の「生きる力」について中島課長から詳しい説明ありがとうございました。国の提言として、確か子供の生きる力を伸ばすためには読書推進をすることという、それは以前から言われていたと思うんですね。私からの要望と申しますのは、子供たちの読書推進をするためには、司書の方たちの力が非常に大きいと思っております。その中で、司書研修ですね、お互いにいろいろと情報交換を行いながら、横のつながりの機会を増やしていただきたいと思っております。今コロナ禍ですのでなかなか難しいところもあると思いますが、要望としてよろしく願いいたします。以上です。

○天野教育長

はい、ありがとうございます。司書研修について何かありましたら、はい、古賀参事。

○古賀学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事

ありがとうございます。まず司書教諭と司書補が学校にいるかと思えます。まず司書教諭につきましては、12学級以上の学校につきまして配置するということになっておりますが、鳥栖市内におきましては全学校に司書教諭を配置しております。司書補につきましては定期的な研修会もあっておまして、集まっての研修も実施しておりますので、連携を図りながら推進していけるよう、こちらの方も検討して実施していきたいと考えております。ありがとうございます。

○天野教育長

はい、副田委員。

○副田教育委員

はい。それでは誠に恐れ入りますが、図書の司書研修の中で、どのような内容の研修が行われたかというようなものがまた分かりましたら、よろしく願いいたします。

○天野教育長

ありがとうございます。他に。はい、戸田委員。

○戸田教育委員

はい。5ページのインクルーシブ教育についてお尋ねします。先ほど中島課長の方から御説明いただいたとおり、鳥栖市ではこのインクルーシブ教育について、組織改編をしてこの考えのもと進めていくということは理解しているつもりです。その上で、5ページのこれまで「特別支援」って書いていたところを「インクルーシブ教育の推進」というふうに変更された思いと、あと、この中に特別支援教育という言葉もあるんですね。この2つの言葉の使い分けっていうか、込めた思いみたいなところを教えてくださいませんか。

○天野教育長

はい。日吉参事。

○日吉学校教育課参事兼指導主事

失礼いたします。インクルーシブ教育の推進、それから特別支援教育の充実というところで、こちらにつきましてはどちらが上位でどちらが下位かということになりますが、こちらの方でも検討いたしましてやはりインクルーシブ教育っていうも

のがこちらの16番、17番を総括するという位置付けになるだろうということで、このように表記を変えたところでございます。今回、インクルーシブ教育の推進ということで、特別支援教育ということで実施してまいりました学校の中、それから関係機関をつないでいくというようなことをこれまでもやってきたわけですが、そこをさらに充実させていく、市庁内でも関係機関との連携を図り、教職員ができること、そして専門的な知見をいただくということを整理して、1人の子供さんが就学前からつながって、そしてずっと見守っていくというようなことで、その充実を図るためにインクルーシブ教育の推進ということで使い分けをしております。特別支援教育はこれまでやってきたものに関して整理をして、そして充実させていくということで、学校教育の中だけではなく、関係機関との連携も進めていくということでの使い分けになります。以上です。

○天野教育長

戸田委員さんどうぞ。

○戸田教育委員

教育プランの中だけではなくて、今後いろんなところで使っていかなきゃいけない言葉になると思うので、ちょっと意識した上で使い分けというか、どちらも意味ある言葉だと思いますし、固有名詞もついている言葉だと思うので、どちらかに絞ることは出来ないと思うので、その辺は意識された方が読む側にとってもいいのかなと思いました。すいません、以上です。

○天野教育長

はい、ありがとうございます。はっきりインクルーシブ教育の推進ということで作ったものですから、一つはこの組織の中にインクルーシブ教育ということで、教育環境の中でエレベーターの設置というのも入ってきましたので、このインクルーシブ教育ということをやっぱり何らかの形で大きく出したいという思いがありました。そういうことも含めて、どちらが上か下かっていうのは厳密に言えないところもあるんですけど、うちとしては学校教育の中の一つにインクルーシブ教育を入れましょう、UD教育もやってますし、いろんなことをやってるんですけど、インクルーシブ教育という形の一つ大きく出しましょうということでしてありますので、その辺はしっかりまた検討していきたいというふうに思っています。ありがとうございます。はい、古澤委員。

○古澤教育委員

はい、私も関連で申し上げます。インクルーシブ教育をここに明記された背景については、一定理解をしているつもりではございます。今回、新たに書き直された部分については、それをとやかく言うつもりはございません。ただ、インクルーシブについてはここに書きにくい部分もあるでしょうけれども、細かく言うと障害をお持ちのお子さん、御本人とか保護者の方も含めてですね、そこでのメリット・デメリットがあると思います。例えば、介助員をつけていただいたり、教室内もいろいろ整備していただいとこういうメリットもあるかもしれないけれども、逆に言うと、感受性の強い子供さんであれば特別扱いされているというような受け取り方をされないとも限らないし、健常と言っていいのかどうか分かりませんが、他の子供さんからすればあの子だけ特別扱いしてっていうようなひがみじゃないですけど、そういう心の歪みが生じたりするかもしれません。そういった子供さんからのメリットとしては、早期に身体に障害をお持ちの子供さんと触れることで、付き合い方とか触れ合い方も自然と小さいうちから学べるということは、将来的には非常に良い意味があるんじゃないかなというふうに思っております。先生方にしても、担任

している子供さんがおられたら医学的な知識の理解も深まるし、そこら辺についても一定良い効果があるんじゃないかなと思います。反対にデメリットとしては、今働き方改革とか言われている中で、余計に勉強したり負担があったりとか、いくら逆行する部分が考えられるんじゃないかなとかいう思いがあります。インクルーシブ教育といってもいろんなプラスとマイナスがあって、それを極力マイナス部分を減らしてプラスを多くして行って、最終的には障害をお持ちのお子さん方が自立して社会参加していただくということが究極の狙いでしょうから、そういったことがかなうように小学校からしていこうということでしょうし、ここに書いてあることについては今回よく見直しをしていただいているなというふうに思っておりますので、そういう難しさを抱えた事業だろうという理解をしているところです。これは単なる意見です。

○天野教育長

はい、ありがとうございます。他に。はい、吉原委員。

○吉原教育委員

はい。9ページ中段に「小学校35人学級化に伴う教室の確保を図ると」書いてあるところがあります。今現在、各学校で教室数の確保がまた必要なところがあるのであれば、その状況をちょっと教えてほしいのと、その次の新型コロナウイルスの感染症対策ということで、「サーマルカメラや消毒液、ハンドソープ等の確保」ということで書いてあります。実際、変異ウイルスが確率的に若年層に多く出てきているというニュースも聞きますので、要は前回もちょっと感染対策のための換気の状態とかお聞きしたんですが、夏場30度を超えるような状況の中ではエアコンをつけたときに、学校によっては壁掛け扇風機があると思うんですが、それとエアコンを併用して換気をするとか、そういうお考え的なものがあれば教えてほしいと思います。そういうのも併用していかないと、今後感染予防というか、感染対策というか、そういうのも先に先に考えていかないといけないのかなという思いもありまして今質問をあげさせていただいております。あと、この前、端と端の窓を開ければ換気が大丈夫だというお話があったと思うんですが、統一したマニュアルを作られて学校に配布されてあるのであれば、ちょっと内容を教えてほしいと思います。以上です。

○天野教育長

35人学級の方から。はい、立石係長。

○立石教育総務課長補佐兼総務係長

はい。35人学級に向けての教室確保ということですが、既に1年生、2年生については35人学級ということでやっております。それ以上の学年についても、35人学級をしている学校もございます。そういう中で、いくつか今回の35人学級化ということで増えるような学校もあるんですが、基本的には今まで特別支援学級を丸々1クラス使っていたのを2つに仕切って、それで1クラス浮かしてそこを普通学級で使ったりとか、そういう間仕切り工事をするによって学級数の確保を進めているようなところでございます。今後につきましては、今手元に資料を持っていないんですけども、これから5年間の児童生徒数の推移等を見ながら学級数がどうなるのかというようなところをシミュレーションしております。その中で、児童生徒数が減っていく傾向もございますので、そういうものと相まって何とかもっていくのかなという見通しは立ってるんですけども、場合によってはやはり窮屈な思いをさせる部分も出てまいりますので、そういうものを見ながら今後また検討を重ねていく必要があるかと思っております。

○天野教育長

はい、古賀参事。

○古賀学校教育課参事兼課長補佐兼教育指導係長兼指導主事

コロナ対策としての教室環境のマニュアル等について質問があったかと思います。まず夏、それから冬、それぞれにこのように対応してくださいということは各学校に文書でお伝えをしております。換気の分につきましては、先日お伝えした対角線上に開けることとしております。夏場、どうしても暑いという場合につきましては、閉めることも可能です。ただし、そういった場合には新しい学校生活のマニュアルの中には、30分ごとに換気を行いなさいというふうになっております。それを実施した学校はないというふうに伺っております。授業中に窓を開ける時間を設けなくてはならないというところがありますので、中断ということも考えられることから、今のところ対角線上に開けるという対応で過ごしたというところで伺っております。ただ、暑さといったところにつきましては、課題が残ったというふうな現状でございます。以上です。

○天野教育長

吉原委員いいですか。はい。他にいいでしょうか。大幅に見直しをしたということで、実施していく中でこれからまたいろいろ出てくるだろうと思っておりますし、活動指標についても果たしてこれでいいのかなというのがまた出てくるし、今後そういった中でまた御意見をいただきながら、よりよい教育プランにしていきたいというふうに思っております。教育大綱とのつながり、教育プランの主たるプレーヤーのところについてはもう少し検討していきたいと思っておりますので、よろしくお願ひしたいというふうに思います。それでは教育プランの改正について、御承認いただくということでいいでしょうか。はい、ありがとうございます。

それでは協議報告事項に入ります。鳥栖市立小中学校学校現場の業務改善計画についてお願いします。はい、中島課長。

○中島学校教育課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

はい、ありがとうございました。来年度の業務改善計画ということで、さらに進めていくというようなことでいろんな項目をあげておりますが、何か御意見・御質問ありましたらお願いいたします。はい、古澤委員。

○古澤教育委員

はい。御報告ありがとうございました。先生方の仕事を想像すると、増えてはいても減ることはないんじゃないかなと思って心配をしておりました。そういう中で、時間外だけをとってみれば成果が現れているのかなというふうに感じておりますけど、それ以外にも数値には出てこないいろんなプレッシャーですとか、メンタルに重くのしかかってくるような保護者とのやりとりとか子供さんとのやりとりとか、そういう部分もあるでしょうからですね。目に見える形ではこういったことで出来てきてますけど、先生方をしっかりとフォローしておかないといけないのかなという気がしておりますので、身体の御支援、御助言を学校の方にもしていただけるようによろしくお願ひをしておきます。

○天野教育長

はい、中島課長。

○中島学校教育課長

はい。ありがとうございます。以前から委員さんの方からはそういった御指摘、

お話をいただいてありがたいなと思っております。各学校につきましては、学校長に対しても定期的な先生方への面談だけではなくて、随時先生方の様子を見ながら声掛けをしてくださいということをお願いしております。また、例えばそれぞれ学年に主任もおりますので、そういった主任の先生方にも担当学年の先生方をよく見といてくださいと伝えております。そして、気になるようなときには声かけをしていただいて、管理職にも伝えていただくよう校長先生方にお伝えしながら先生方のメンタルヘルスに気を付けています。もし何か気になるようなことがあるという場合には、やはり早くこちらが手を打っていくということを継続して行っていきたいと考えております。ありがとうございます。

○天野教育長

他にいいでしょうか。はい、じゃあ次に行きます。

今後の予定をお願いします。はい、青木次長。

○青木次長兼教育総務課長

(資料に基づき説明)

○天野教育長

何か今後の予定について御質問等ありましたら、いいでしょうか。はい、それではちょっと今日は早朝よりということで、またこの後 10 時から議会が始まるということでご迷惑かけますけど、本当にありがとうございます。それではこれを持ちまして、教育委員会 3 月定例会を終わります。皆さんどうもありがとうございます。